

講演会

三浦綾子の世界

「道ありき」

にもかかわらず
愛されるとき
奇蹟は起きる
三浦綾子の
人生が
語る希望

摩周湖

代表作「氷点」は映画化され、数度にわたりラジオやテレビドラマ化される。

「塩狩峠」は昨年も「新潮文庫の100冊」に選ばれる。

作家三浦綾子の人生。それは挫折と苦難の連続。戦時中軍国教師であったことからの敗戦後の絶望、自殺未遂、13年に及び死の病との闘い、恋人の死。

そんな彼女がなぜ多くの人に勇気と希望を与える作品を書くことが出来たのか？

何が彼女を再生させ変えたのか？その人生のドラマの核心、

奇跡の物語を自伝『道ありき』を中心に分かりやすくお伝えします。

—講師森下辰衛—

2020年2月15日(土)午後2時30分



講師：森下辰衛氏 三浦綾子読書会代表

1962年岡山県生れ。元福岡女学院大学助教授。'07年旭川に転居し三浦綾子文学館特別研究員として研究に専念。三浦綾子読書会代表として広く活動し、全国各地に精力的に、楽しく、深く、わかりやすく講演を行っている。

著書：『「氷点」解凍』監修：「三浦綾子366のことば」他

参加無料

どうぞお気軽に
おこし下さい



三浦綾子



会場・主催：仙台めぐみ教会

仙台市泉区向陽台 4-22-10 (交番近く)

☎ 022-218-5510 宣教師 魚本マーレー

共催：三浦綾子読書会 (三浦文学を学び合う楽しい集まり。国内外130か所以上で開催)